

世界遺産 富岡製糸場 国宝「西置繭所」
6年間の保存整備工事を経て10月3日（土）にグランドオープン
－ 10月3日（土）・4日（日）記念イベント開催 －



写真（上）撮影：瀬脇 武

世界遺産 富岡製糸場（群馬県富岡市）の国宝「西置繭所」が、足掛け6年にわたる保存整備工事を終え、10月3日（土）にグランドオープンします。また、記念のイベントを同3日（土）と翌日4日（日）に開催します。

■新たな機能で魅力を増した国宝「西置繭所」

富岡製糸場全体の保存整備計画が進む中、最初の本格的保存整備事業として着手した国宝「西置繭所」の工事が令和2年5月に完了し、この度、グランドオープンします。文化財として保存する一方で、積極的な活用との両立を目指し、ギャラリー（資料展示室）と多目的ホールがハウスインハウスの手法を用いて整備されました。

●西置繭所の見どころ

■ギャラリー（資料展示室）

富岡製糸場で保存されてきた歴史的資料の実物を、常設で展示するスペースです。富岡製糸場の創設、富岡製糸場で働き暮らした女性たちの生活、そして生糸づくりの作業（製糸工程）について、ビジュアルに分かりやすく展示解説します。なかでも、115年間の女性従業員の作業着の変遷をミニチュアサイズで伝える展示は見どころの一つです。



■ガラスのホール

1階北側に、ハウスインハウス手法により多目的ホールが整備されました。耐震補強用の鉄骨を骨組みとしたハウスインハウスで、壁と天井がガラスのユニークベニューです。イベントを行いながらガラス越しに国宝建物を体感できます。



■2つの音声ガイド

西置繭所の見どころを紹介する音声ガイドを整備しました。スマートフォンにアプリ（無料）をダウンロードしてご利用いただけます。ガイドは2種類あり、展示資料や建物の特徴など見どころを人気声優の武内駿輔さんが案内するメインガイドと、2階の漆喰壁の落書きの痕跡や煉瓦積みの様子などから浪曲師、玉川太福さんが創作浪曲で案内するスペシャルガイドがあります。楽しみながら富岡製糸場や西置繭所の歴史に触れてください。

武内駿輔（たけうち・しゅんすけ）

声優。主なアニメ出演作は『KING OF PRISM』アレクサンダー役、『彼方のアストラ』ザック・ウォーカー役、『A3!』兵頭十座役など。美術展音声ガイドでは『原三溪の美術』など好評を得る。2016年に「第10回声優アワード・新人男優賞」受賞。



玉川太福（たまがわ・だいふく）

浪曲師。年間50公演を超える独演会を開催し、近年は落語の定席にも出演。「天保水滸伝」や「清水次郎長伝」といった古典演目を継承しながら、独自の新作浪曲にも意欲的に取り組んでいる。2017年に「第72回文化庁芸術祭・大衆芸能部門新人賞」受賞。



企画・製作：アコースティガイド・ジャパン

浪曲ガイド製作協力：テレビマンユニオン

●グランドオープン記念イベント

①浪曲ガイドの実演

西置繭所を案内する音声ガイドの一つ、浪曲ガイドを創作し収録した浪曲師の玉川太福さんが、実際に西置繭所で浪曲を披露します。(曲師：伊丹明)

日時：令和2年10月3日(土) ①13時～、②15時～(予定)

②富岡製糸場をテーマにした演劇の公演

昭和30年代頃の富岡製糸場を舞台にした演劇を公演します。脚本・演出は菅野臣太郎さん、出演キャストは5名位の予定。

日時：令和2年10月4日(日) ①11時～、②14時～、③16時～(予定)

③橘ゆり オルガンコンサート

富岡製糸場設立当時の時代をテーマにしたプログラム内容になっています。

日時：令和2年10月11日(日) 14時30分～16時(予定)

※記念イベントの応募方法の詳細は、9月以降、富岡製糸場HP等で発表いたします。

【西置繭所について】

創業に際し建設された2棟の繭倉庫のうちの1棟。木骨煉瓦造の2階建て、棧瓦葺きで、長さが約104mある長大な建物です。今回の保存整備工事では、保存修理に併せて耐震補強と活用のための整備を行い、1階にはハウスインハウスの手法を用いたガラスのギャラリー(資料展示室)と多目的ホールを整備しました。



【富岡製糸場 概要】

富岡製糸場は明治5年に官営模範工場として操業を開始した器械製糸工場です。昭和62年に操業を停止後、平成17年から富岡市が所有管理し、一般公開しています。平成26年にユネスコ「世界遺産一覧表」に記載され、同年、繰糸所と東西2棟の置繭所が国宝に指定されました。

名 称： 富岡製糸場

住 所： 群馬県富岡市富岡1-1 富岡製糸場

開場時間： 午前9時～午後5時(入場受付は午後4時30分まで)

見学に関する問合せ： 0274-67-0075(総合案内所)

報道関係の皆様からのお問い合わせ先

富岡製糸場西置繭所PR事務局(株式会社 サニーサイドアップ内)

担当：和久(070-1639-9625)、牧野、森井

TEL：03-6894-3251 FAX：03-5413-3232 EMAIL：tomioka_pr@ssu.co.jp
